

昭和九年度

鮭鱒孵化事業報告

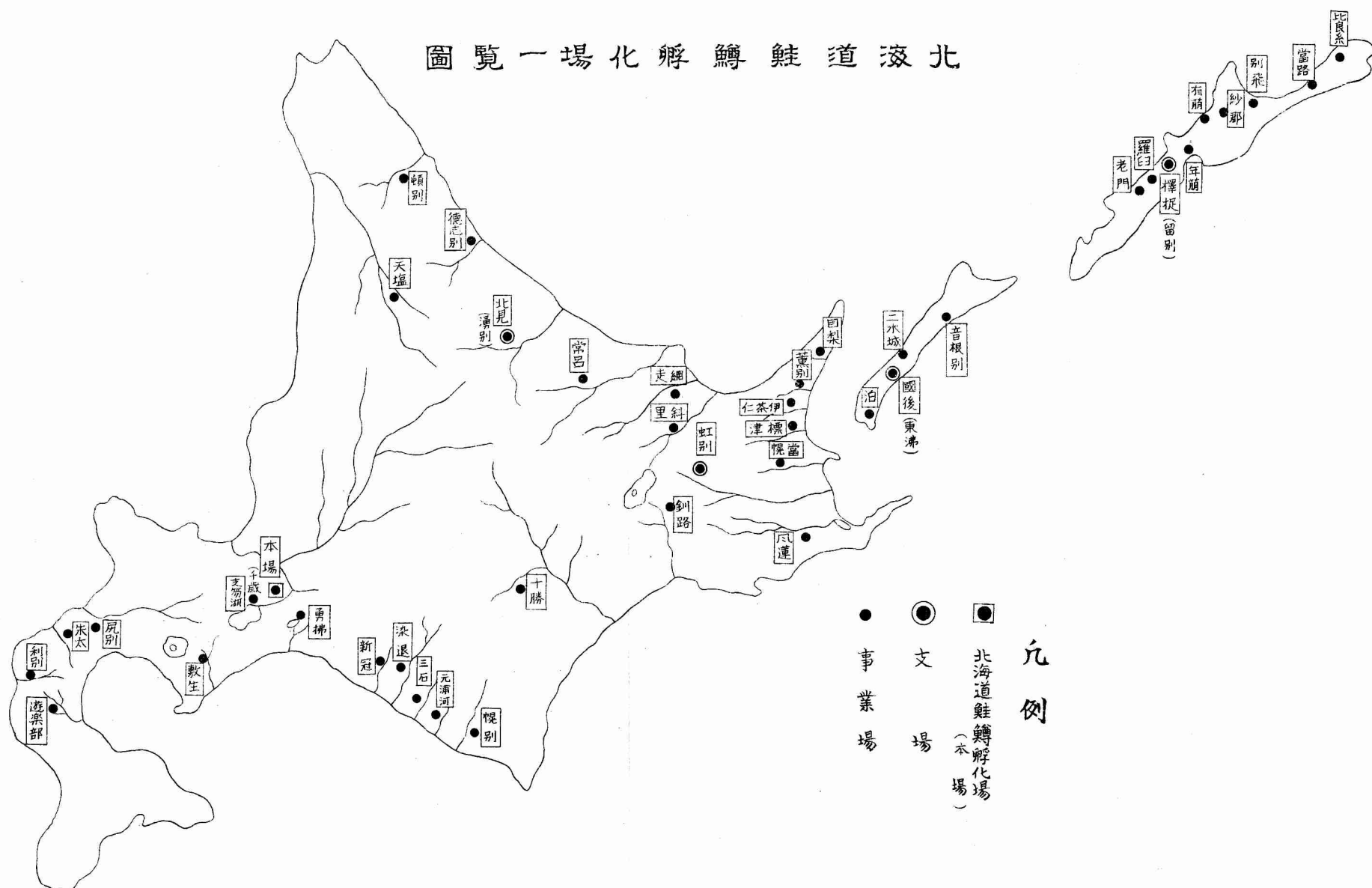
第一冊

北海道鮭鱒孵化場



北 海 道 鮭 鱒 化 場 全 景

北 海 道 鮭 鱒 孵 化 場 一 覽 圖



凡例

北海道鮭鱒孵化場

支場

事業場

目次

緒言	一
鮭鱭孵化事業移管經過	一
移管孵化事業計畫	一
昭和九年度事業計畫	二
昭和九年度事業成績	四
鮭孵化事業	四
親魚捕獲	五
採卵	五
孵化放流	五
移植	六
鱒孵化事業	一八
親魚捕獲	一八
採卵	一八
孵化放流	一九
鮭孵化事業	二六

親魚捕獲		二六
採卵		二六
孵化放流		二六
種卵配付		二七
試験及調査		三〇
指導		四一
其ノ他		四一
移管成績		四一
北海道鮭鱒孵化場規程		四五
北海道鮭鱒孵化場處務規程		四六

凡 例

一、本書ニ記述スル事業成績ハ十年度ニ於テ終了セルモノアルモ着手年度九年度ニ在ルモノハ凡テ集録セリ。

一、試験調査ノ成績ハ其ノ概要ヲ記シ詳細ハ別途ノ報告ニ讓ル。

緒 言

昭和八年度末現在本道鮭鱒孵化場數ハ北海道廳直營ノモノ三個所、民營五十五個所、計五十八個所（湖水養殖ヲ目的トスルモノ官營一個所、民營三個所ヲ除ク）ニシテ、其ノ孵化能力鮭四億一千四十万粒、鱒一億九千八百万粒ヲ有シ孵化放流數鮭二億一千三百八十四万二千二百四十八尾、鱒七千四百二十六万一千二百九尾（昭和四年度以降五個年平均數）ナリ。而シテ鮭漁獲高約五万石、鱒漁獲高約九万石ヲ示シ昭和二年度改訂已定計畫鮭四万五千石、鱒三万五千石ノ漁獲目標ニ對シ已ニ鮭一割一分鱒十六割ヲ増加スルノ好成績ヲ收メ得タリ。

然レドモ本道内陸ノ開拓進ミ河川水質ノ汚濁加ハリ河底産卵床ヲ荒廢セシメ一方漁獲力ノ發達ニ伴ヒ産卵親魚數ノ減少ヲ來シ孵化放流ノ効果減殺セラル、惧アルヲ以テ、更ニ有効適切ナル人工孵化事業ヲ實施スルニ非レバ已往ノ努力ヲ水泡ニ歸セシメ將來ノ鮭鱒漁業經營ヲ危地ニ導クニ至ラントセリ。蓋シ從來ノ孵化事業組織ハ各個ノ能率ヲ増進セシムルニハ可ナレドモ全道のニ孵化放流ノ効果ヲ期待スルニ不利ナルト、經營費ノ膨張ハ收支ノ均衡ヲ失シ經營ヲシテ困難ナラシメ惹テ營利ニ没頭スル不祥事ヲ惹起スル惧ナシトセズ。殊ニ孵化放流ニ依ル回歸漁獲魚ハ廣ク全道ニ均霑スル傾向アルニ徴シ本事業計畫ヲ改訂シテ時弊ニ抗シヨク漁業ノ安定策ヲ樹立施行スルノ急務ヲ痛感セリ。

此目的ヲ達スルニハ本事業ヲ有機的ニ結合統一シ有無相通長短相補ノ合理的經營ヲ行ヒ以テ最大ノ効果ヲ期待スルニ若カザルナリ。即機熟シ昭和九年四月一日ヲ以テ民營孵化場中重要位置ヲ占ムルモノ三十八個所ヲ移管シ在來官營四孵化場（内一個所ハ湖水養殖場）ニ合セ四十二個所ヲ以テ北海道鮭鱒孵化場ノ一大傘下ニ集ムルニ至レリ。

惟フニ鮭鱒漁業ヲ以テ重要水産業トスル本道ニ於テハ其ノ種族ノ維持策ハ既ニ徳川幕府直轄時代ヨリ考慮セラレ開拓使時代ニ至テ之ヲ具體化セリト雖モ、未ダ天然蕃殖保護ヲ謳歌推賞スル域ヲ脱セザリシガ明治二十一年千歲孵化場ヲ興シテ

茲ニ人工孵化ニ依ル積極的蕃殖方針ノ旗幟ヲ鮮明スルヤ科學ノ應用ニ依ル技術ノ向上ト事業ノ保護助成及蕃殖保護制度ノ改善等施設經營ノ觀ルベキモノ多カリキ。從テ一時漁獲ノ減耗停止スルヲ知ラザル趣アリシ鮭鱒漁業ニ起死回生ノ機會ヲ與ヘタルノミナラズ、這般ノ移管統制ヲシテ極メテ容易圓滑ナラシムル素地ヲ作りタルヲ稽ヒ嚴冬素雪ノ朔北ニ多年人工孵化ニ獻身の努力ヲ惜マザリシ先輩各位ニ滿腔ノ敬意ト感謝ヲ表シテ已マザル所ナリ。

移管第一年ノ業績ハ別記ノ如ク幸ニシテ豫想外ノ好成績ヲ收メ得タルハ欣快之ニ過グルモノナク記錄シテ以テ廣ク頒布シ更ニ今後ノ大成ニ資スル所アラントス。

昭和十一年三月二十日

北海道鮭鱒孵化場長 半 田 芳 男

鮭鱒孵化事業移管經過

昭和九年三月二十九日左記三十八民營孵化場ノ財産及物品ヲ國ニ無償寄附ヲ受ケ（寄附採納迄ハ無償貸付ヲ受ク）在來ノ千歳、虹別及留別ノ北海道廳鮭鱒孵化場ニ夫々附屬セシメ事業ヲ施行スルコトニ決定セリ。後諸般ノ準備ヲ完了シタルニ依リ同年六月五日北海道鮭鱒孵化場ヲ創設シ、之ヲ中心トシテ其ノ下ニ鮭鱒漁業ノ狀況ト蕃殖河川トノ關係及交通ノ便否ヲ考慮シ、全道ヲ五區ニ分チ各區ニ支場ヲ置キ其ノ區内ノ孵化場ヲ之ニ配屬セシムルノ方針ヲ決定シ、七月二十八日ニ北海道鮭鱒孵化場規程及北海道鮭鱒孵化場處務規程公布セラレ、茲ニ本事業ノ實施ヲシテ遺憾ナカラシムルヲ得タリ。

移管孵化事業計畫

昭和二年ニ於テ樹立セル孵化事業計畫ハ千歳、西別及留別ノ三官營孵化場ニ於テ當該河川ノ鮭鱒増殖ヲ行フ外民營事業ヘ模範ヲ示シ、併セテ必要ナル試驗調査ヲ行ヒ且種卵ノ配付ヲナシ、其ノ他ノ河川ニハ民營ニ依ル孵化場ヲ設置セシメ之ヲ助成シ昭和二十一年迄ニ年放流數鮭二億八千万尾、鱒三億一千二百万尾タラシメ以テ年漁獲高鮭四万五千石、鱒三万五千石ヲ確保シ漁業ノ安固ヲ期スルニ在リタルガ、此度ノ移管ヲ契期トシテ更ニ計畫ヲ左通改訂シテ時代ニ適應セシメタリ。

(一) 年 漁 獲 目 標

本道鮭漁獲高六万石、鱒十五万石ヲ實現シ以テ定直漁業一ヶ統平均鮭百石、鱒百三十石ヲ得セシメテ漁業經營ノ安定ヲ圖ル外、本道沖合漁獲ノ資源涵養ニ資セントス。

(二) 實施方法

民營孵化場ノ移管ニハ設備買收費及負債ヲ有スルモノニハ其ノ整理費用ヲ要スルモ、現下ノ狀勢ニ於テハ此財源ヲ遽ニ求メ難キニ依リ設備ハ國ニ無償寄附セシメ探卵及化放流ハ國ニ於テ施行シ、親魚捕獲ハ昭和九年度以降五ヶ年間從來ノ經營者ニ委託シ、探卵後ノ親魚ヲ無償交付シ其ノ收益ヲ以テ前記ノ費用ニ充テシム。而シテ移管孵化場ニ於テハ已述年漁獲高ヲ實現スルタメニ毎年鮭三億粒ヲ探卵シ稚魚二億五千五百万尾以上ヲ孵化放流シ、又鱒一億二千万粒ヨリ一億八百万尾以上ヲ孵化放流スルコトニ定メタリ。

昭和九年度事業計畫

本計畫ニ依ル昭和九年度探卵數及孵化放流豫定數ハ左表ニ示ス通鮭三億粒ヨリ二億五千五百万尾、鱒一億二千万粒ヨリ一億八百万尾以上ヲ孵化放流スル外、支笏湖ニ於ケル姫鱒増殖事業及各種ノ試驗調査、種卵配付、指導ヲ爲シ以テ本事業施行上必要ナル基礎的事實ノ闡明ト道内淡水面上必要ナル水族ノ蕃殖ニ貢獻セントス。

場名	鮭		鱒		摘
	探卵數	放流數	探卵數	放流數	
本場	五、〇〇〇 万粒	四、五〇〇 万尾	五〇 万粒	四五 万尾	放流數ハ鮭ニ於テ探卵數ノ八五%鱒ニ於テ九〇%以下同
場支	三〇〇	二五五	一〇〇	一八〇	
場事	五〇〇	四五	一〇〇	一八〇	
場業	三〇〇	二五五	一〇〇	一八〇	
場場	一、〇〇〇	八五〇	一〇〇	一八〇	
敷遊利朱尻	二〇〇	一七〇	一〇〇	一八〇	
樂部別太別					
生部					

北海道鮭鱒孵化場・支場・事業場一覽表

本場	支場	事務場	孵化場		位	移管前經營者
			鮭	卵數		
尻別	五、〇〇〇	三〇〇	二〇〇	五〇	千歲郡千歲村大字烏棚舞村	北海道廳
朱太別	五〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	磯谷郡南尻別村字中目名	尻別川鮭鱒人工孵化組合
利別	三〇〇	二〇〇	二〇〇	一〇〇	歌葉郡熱郭村大字作開村字南作開	壽都・歌葉兩漁業組合
遊樂部	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	瀬棚郡東瀬棚村字丹羽	瀬棚郡漁業組合
敷生	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	山越郡八雲町大字八雲村字セイヨウベツ	遊樂郡川鮭魚蕃殖組合
勇拂	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	白老郡白老村大字敷生村字トビウ	膽振水產會
支笏湖	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	勇拂郡苫小牧町大字植苗村字美々	同 右
新冠	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	千歲郡千歲村大字烏棚舞村	北海道水產試驗場
新退	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	新冠郡新冠村大字去童村	新冠漁業組合
三石	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	靜内郡靜内町大字御園村	日高國水產會
元浦川	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	三石郡三石村大字邊訪村	三石漁業組合
幌別	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	浦河郡萩伏村大字姉茶村	萩伏漁業組合
天鹽	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	浦河郡浦河町大字西舍村	浦河漁業組合
虹別	三、〇〇〇	七〇〇	一、〇〇〇	一〇〇	上川郡下川村字上名寄	天鹽鮭鱒養殖水產組合
十勝	七〇〇	三〇〇	一、〇〇〇	一〇〇	川上郡標茶村大字虹別村シユクンシユベツ	北海道廳
釧路	七〇〇	一、〇〇〇	二、〇〇〇	一〇〇	河西郡大正村大字幸震	十勝外四郡鮭鱒養殖水產組合
風蓮	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	川上郡弟子屈村大字屈斜路村字美留和	釧路國水產會
當幌	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	厚岸郡濱中村大字後靜村字姉別	根室鮭鱒養殖水產組合
標津	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	野付郡別海村大字平系村字コハナイ	同 右
伊茶仁	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	標津郡標津村字ボンリユウル	同 右
薰別	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	標津郡標津村字伊茶仁	同 右
目梨	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	目梨郡羅臼村	同 右
北見	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	紋別郡上湧別村字開盛	紋別鮭鱒養殖水產組合
斜里	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	斜里郡斜里村大字斜里村字江鳶	網走外二郡鮭鱒養殖水產組合
網走	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	網走郡網走町大字網走村字呼人	同 右
常呂	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	常呂郡野付牛町四區	同 右
德志別	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	枝幸郡枝幸村大字歌登村字德志別	枝幸鮭鱒養殖水產組合
頓別	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	枝幸郡頓別村字頓別	同 右
二木城	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	國後郡泊村大字東沸村	國後養殖水產組合
音根別	二〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	國後郡留夜別村大字大瀧村字二木城	同 右
泊	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	國後郡留夜別村大字留夜別村字音根別	留夜別漁業組合
老門	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	國後郡泊村大字泊村字シロマンベツ	松崎榮次
羅白	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	擇捉郡留別村大字留別村字大山	北海道廳
年那	三〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	擇捉郡留別村大字老門村字アシヨウライ	合名會社 栖原商店
紗那	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	擇捉郡留別村大字留別村字羅白	羅白鮭養殖組合
有那	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	擇捉郡留別村大字留別村字年那	單冠灣漁業組合
別飛	一、〇〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	紗那郡紗那村大字紗那村字ドロメナ	擇捉島水產會
當路	四〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	紗那郡紗那村大字有那村	栖原忠雄
比良糸	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	紗那郡紗那村大字別飛村	擇捉島水產會
本場	五、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	藥取郡藥取村大字乙今丑村字當路	合名會社 栖原商店
支場	五、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇	藥取郡藥取村大字藥取村字比良糸	栖原庸世
事業場	五、〇〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇		
合計	三、〇〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇		

國	北	虹
後	見	別
頓	德	常
志	網	斜
別	呂	走
	里	
	日	薰
	伊	標
	當	風
	釧	十
	天	幌
	元	三
	浦	染
	川	新
	石	退
	冠	支
	湖	勇
	拂	

一、
〇〇
四〇〇
一〇〇
四〇〇
三〇〇
二〇〇
五〇〇
五〇〇
一、
〇〇
一、
〇〇
一、
〇〇
一、
〇〇
一、
〇〇
七〇〇
七〇〇
三、
〇〇
四〇〇
二〇〇
一〇〇
一〇〇
一、
〇〇
一〇〇
一〇〇

八五〇
三四〇
八五
三四〇
二五五
一七〇
四二五
四二五
八五〇
八五〇
八五〇
八五〇
八五〇
五九五
五九五
二、
五五〇
三四〇
一七〇
八五
八五
八五〇
八五
八五
八五

| 一〇〇
三〇〇
一〇〇
三〇〇
一〇〇
三〇〇
一〇〇
一〇〇
| 三〇〇
三〇〇
二〇〇
二〇〇
| 三〇〇
一〇〇
一〇〇
| | | | |
二〇〇
|

| 九
二七〇
九
二七〇
九
二七〇
二七〇
九
| 二七〇
二七〇
一八〇
一、
八〇〇
| 二七〇
九〇
九
| | | | |
一八〇
|

姫
鯨

計	擇 捉									
	二木城	泊根別	老門	羅白	年那	紗那	有萌	別飛	當路	比良糸
	五〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	二〇〇	五〇〇	一〇〇	四〇〇	三〇〇
	四五	一七〇	八五〇	八五〇	二五五	一七〇〇	四五	八五〇	三四〇	四五
	四〇〇	二〇〇〇	五〇〇	一〇〇	一五〇	一〇〇〇	二〇〇	五〇〇	一〇〇	二〇〇〇
	三六〇	一八〇〇	四五〇	九〇	一三五	九〇〇	一八〇	四五〇	九〇	一八〇〇
外姫鱒探卵數二〇〇万粒 放流數一八〇万尾										

昭和九年度事業成績

鮭 孵 化 事 業

本年度鮭人工孵化實績ハ探卵數三億四千八百八十七萬五千粒、孵化放流數三億五百五十二萬六千六百八十六尾ニシテ豫定計畫ニ對シ探卵數ニ於テ一一・三・九％、孵化放流數ニ於テ一一・九・八％ノ好成績ヲ收メ得タリ。殊ニ本場（舊千歳孵化場）ハ創立以來四十八年間ニ於ケル未曾有ノ好況ニシテ、實ニ一億百四十五萬三千三百粒ノ探卵ヲ見正ニ世界記録ヲ作リタリ。

(一) 親 魚 捕 獲

親魚捕獲場ハ千歳川他百二十三箇所ニ設ケ外ニ石狩川下流ニ於ケル地曳網漁業及流網漁業ニ依ル漁獲魚ノ一部ヲ探卵ニ供シタリ。昭和九年九月ヨリ同年三月ニ至ル間ノ捕獲總數雌二十萬八千二百五十四尾、雄二十四萬三千三百九尾、計四十五萬一千三百六十三尾ナリ。（第一表參照）

(二) 採 卵

前記捕獲親魚中成熟魚ハ直ニ採卵ニ供シ未熟魚ハ極力蓄養シテ成熟ヲ促シ、隨時採卵ヲナシ卵子ヲ其ノ所屬孵化場ニ輸送シ孵化セリ。捕獲親魚數中採卵ニ供セル親魚ハ雌十四萬三千二百七十七尾、雄七萬五千百七十八尾ニシテ、內蓄養シテ成熟セシメタルモノ雌二萬八千五百六十四尾、雄二萬一千三百四十五尾ナリ。而シテ以上親魚ヨリ得タル採卵數三億四千八百八十七萬五千粒ナリ。

右ニ依リテ見レバ捕獲雌親魚ニ對スル使用雌親魚ノ割合ハ六八・八％、雌一尾ヨリノ平均採卵數二千三百八十五粒、豫定計畫ニ對スル採卵ノ割合ハ一一・三・九％ニ當レリ。（第一表參照）

(三) 孵 化 放 流

前記採卵數ノ中ヨリ分與卵百八十四萬粒及各種ノ試驗卵十九萬七千五百粒、計二百三萬七千五百粒ヲ控除セル三億三千九百七十七萬一千二百五十粒ヲ孵化セリ。而シテ孵化ニ至ル迄ノ死卵數ハ三千四百二十四萬四千五百六十四粒ニシテ之ヲ除ク三億五百五十二萬六千六百八十六尾ヲ孵化セリ。孵化率八九・九％ナリ。

仔魚ハ養魚池及孵化槽等ニ於テ飼育シ健全度ト河川ノ狀況トニ應ジ昭和十年一月六日ヨリ同年七月十九日ニ至ル間ニ放流セリ。（第二表參照）

(四) 移殖
 孵化場收容力ニ餘ル卵子若クハ水源涸渇其ノ他不慮ノ事故ニヨリ孵化ニ危険ヲ生ジタルモノハ、適宜他孵化場ニ移殖シ以テ効率ノ減退ヲ防止シ得タルハ本移殖統制ノ齎セル賜ナリ。此種ノ卵數合計二千二百三十八万七千六百粒ニシテ詳細左表ノ通り。

種類	卵數	產地	移殖先	摘	要
計	五、〇〇〇、〇〇〇	本場	虹別支場十勝事業場		
〃	五〇〇、〇〇〇	同 右	新冠事業場		
〃	五〇三、六〇〇	染退事業場	三石事業場		
〃	一〇一〇、〇〇〇	同 右	幌別事業場		
〃	三、〇〇〇、〇〇〇	虹別支場	虹別支場當幌事業場		
〃	四七五、〇〇〇	虹別支場伊茶仁事業場	同 右		
〃	九四、〇〇〇	北見支場常呂事業場	北見支場斜里事業場		
〃	一、三〇、〇〇〇	同 右	北見支場網走事業場		
〃	一、六〇〇、〇〇〇	北見支場頓別事業場	天鹽事業場		
〃	一〇〇、〇〇〇	同 右	北見支場		
〃	二、二二、五〇〇	同 右	ウソタン川埋没		
〃	五、七〇二、五〇〇	擇捉支場羅臼事業場	擇捉支場		
〃	二、三八七、六〇〇				
用水枯渇ノタメ孵化ニ支障ヲ來セルニヨル					

第一表

鮭親魚捕獲採卵成績表 (自昭和九年九月至同十年三月)

場名	捕獲所獲	雌	雄	計數	親魚	雌	雄	計數	蓄養	雌	雄	採卵數	期間
本場	千歲川	三九、五三三	二一、〇〇三	六〇、五三六	三、一〇一	二一、九五四	四三、九七〇	五九〇	一四〇	九七、三八五	六〇〇	九、二七一	自九月一日起至十月三十一日
	石狩川	五、一〇四	三、八一六	八、九二〇	一、七三四	五六六	二、三〇〇	四、〇六七	一〇	四、〇六七	五〇〇	二、二七一	自九月一日起至十月三十一日
	下流	四四、六三七	二四、八八九	六九、四五六	三三、七四九	二一、五二一	四六、二七〇	五九〇	二四〇	一〇一、四五三	一〇〇	二、二七一	自九月一日起至十月三十一日
	尻別	一、一六七	一、二四一	二、四〇八	一、〇七七	九三五	二、〇二二	七四五	六四七	二、七九四	五〇〇	二、二七一	自九月一日起至十月三十一日
	昆布	五九	一五七	二二六	五八	二〇	七八	四一	一四一	一六五、五〇〇	一七、五〇〇	一、〇三一	自九月一日起至十月三十一日
	名無川	七	三八	四五	六	五	一一	七八六	七八八	二、九七七、五〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	朱太	一、二三三	一、四三六	二、六六九	一、一四一	九六〇	二、一〇一	七八六	七八八	六、七五〇、〇〇〇	六、七五〇、〇〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	執郭	三〇七	三八	六三九	一五八	一八一	四三九	一五	一四	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	作開	二、八九二	三、九三〇	六、八二二	二、四七八	一、八八三	四、三六一	六、三〇〇、〇〇〇	六、三〇〇、〇〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	瀧ノ澤	一〇二	一八二	二八四	九八	七四	一七二	二四〇、〇〇〇	二四〇、〇〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	金ヶ澤	四二	一一七	一五九	四二	三六	七八	一〇五、〇〇〇	一〇五、〇〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七七、五〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	計	三、三四三	四、五五七	七、九〇〇	二、八七六	二、一七四	五、〇五〇	二五	一四	七、一五〇、〇〇〇	七、一五〇、〇〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	利別	一、八八三	二、二六八	四、一五一	八〇七	二、一五一	一、〇五八	九四四	三三三	二、〇〇六、五〇〇	二、〇〇六、五〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	第一	二五	四一	六六	二五	二〇	四五	一〇	一〇	五九、〇〇〇	五九、〇〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	第三	二九	四九	七八	二八	二五	五三	一〇	一〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二、九七一	自九月一日起至十月三十一日
	第四												自九月一日起至十月三十一日

虹別

計	計	十勝	御影	熊牛	ヌツプク	旅来	大曲	白人	東八號	東三號	札内	音更	千野	然別	毛根	釧路
シユラン 三、二四四	ア 二、〇〇八	温根別 一六、二五三	御影 二、五五	熊牛 一〇八	ヌツプク 一六	旅来 三、八九五	大曲 二、八八〇	白人 一、〇三三	東八號 八〇三	東三號 六〇四	札内 三八一	音更 二八五	千野 一三二	然別 一〇二	毛根 一九八	釧路 一、〇七一
一、四五四	三、八三三	二、七八八	二、五五	二、五五	三、二	四、九五九	四、〇九九	一、八九四	一、二六	八八一	九〇〇	五、四七	二、七四	二、二〇	二、八六	九八〇
二、九一〇	七、一五七	三、八、一二	三、六二	一、七	五、八	八、八五四	六、九七九	三、〇九七	一、九五	一、四八五	一、二八一	八、三二	五、〇五	三、二二	四、八四	二、〇五二
七、七一	三、〇三五	一、四、七四	四、九	一、五	一、五	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三	一、六九三
二、八〇	一、〇七一	七、六九七	三、二	一、四	一、四	九、四六六	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九	二、九、一五九
一、〇五二	四、一〇六	二、二、四一	八、一	九、二	二、四	一、〇、五	六、九	五、八一	一、二、四一	七、二七	三、六七	二、六九	一、六六	一、〇二	一、六二	一、五五
二、〇、〇〇〇	七、二五、〇〇〇	二、九、〇五、〇〇〇	二、三、一五、〇〇〇	二、三、一五、〇〇〇	七、七、五〇〇	一、〇〇、〇〇〇	八、四、五〇〇	九、四、二五〇〇	五、一五、〇〇〇	五、一五、〇〇〇	三、五、〇〇〇	一、五、五〇〇	五、五、〇〇〇	二、一、五〇〇	三、七、〇〇〇	二、七、〇〇〇
九、三、一九	四、〇七、五〇〇	二、九、〇五、〇〇〇	二、三、一五、〇〇〇	二、三、一五、〇〇〇	七、七、五〇〇	一、〇〇、〇〇〇	八、四、五〇〇	九、四、二五〇〇	五、一五、〇〇〇	五、一五、〇〇〇	三、五、〇〇〇	一、五、五〇〇	五、五、〇〇〇	二、一、五〇〇	三、七、〇〇〇	二、七、〇〇〇

計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
大澤	古丹	風蓮	オニハツ	姉別	別當賀	ノコベリ	オンネキ	ツケ	春別	タカアルマ	標津	シヨカン	伊茶仁	當幌第二	標津橋	伊茶仁
七、七一	二、〇三四	三、八七八	七、九五	一、四四九	一、四七〇	一、四六八	五、四六	五、四六	三、七	四、〇	二、〇四二	一、九六	一、七〇六	一、七五三	三、八七	一、九七
七、九三	一、一九六	二、九六九	一、二九	一、四九九	二、二四四	一、三九〇	五、八七	九、一四	七、七三	三、七	一、四三〇	二、六九	二、四七	二、九七	七、九四九	一、九四四
一、五、六五	三、三、三〇	六、八四七	一、九、四	二、八、八八	三、七、二四	二、八、五八	一、一、三三	一、四、七八	二、四、〇五	七、四	三、四、七二	四、六、五	四、一、五三	四、六、八〇	三、八、八一	八、三
七、七一	一、九七五	三、八、一九	六、三	三、五、四	八、九	一、〇、四七	四、〇八	五、〇三	三、七、六四	二、九	一、八、一五	一、六、六	一、〇、三四	一、一、四〇	一、七、七八	一、八
二、五〇	六、六五	一、二、二三	三、九、四	二、四、九	四、三、八	六、〇、四	二、五、九	三、〇、七	二、一、五一	一、九	一、一、五七	一、〇、六	八、五、三	九、五	一、三、七八	一、四
一、〇、二二	二、六、四〇	五、〇、三二	一、〇、一七	六、〇、三	一、六、五二	一、六、五二	六、六、七	八、一〇	六、〇、一五	四、八	二、九、七二	二、七、二	一、八、八七	二、〇、六五	三、〇、九六	三、一
一、四、七	五、五	三、五、七	九、三、二	一、六、五二	一、六、五二	一、六、五二	六、六、七	八、一〇	九、三、二	三、七	二、〇、四二	一、九、六	九、九	五、二、四	三、五、〇	六
一、九、三、五〇〇	四、五、〇〇〇	九、一、三、一五〇	一、〇、五、〇〇〇	五、九、〇〇〇	一、五、六、五〇〇	二、一、〇〇〇	七、七、〇〇〇	九、九、七、五〇〇	七、〇、七、一五〇〇	三、七	四、〇、三、七、五〇〇	三、七、一五〇〇	二、一、五、〇〇〇	二、一、五、〇〇〇	三、八、九、〇〇〇	四、〇〇〇
一、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一	二、〇、二、〇一

（自昭和十九年九月至同）

場		本場		支場		事業場		名	
採卵		下流		石狩川		本場		尻別	
二、九七、五〇〇		四、〇六、七五〇		九、〇一、九五、六〇〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三、八一九七		二、九七、五〇〇	
二、九七、五〇〇		三、四〇、〇〇〇		七九、四五、七四〇		一〇、七三			

[illegible]

計	有 萌 有 萌	計	別 飛 ア ン コ ロ	計	當 路 ア ン コ ロ	計	比 良 糸 比 良 糸	計	合 計
九、九三	一、一八四	〃	四、三九九	〃	二、三七一	〃	六四九	一、九四八	二〇八、二五四
一六、九五四	一、五二七	〃	五、六二九	〃	二、四五四	〃	八五七	三、一〇六	四三、一〇九四五
二六、八七七	二、七〇一	〃	一〇、〇八	〃	四、六七一	〃	一、五〇六	五、二五四	二、六三三
八、九七	一、〇六六	〃	四、二二	〃	一、九六一	〃	六二七	一、八〇三	四三、二七七
三、九〇七	四九六	〃	三、八〇六	〃	一、三四八	〃	五九九	一、九八	七五、一七八
二、八四四	一、五六二	〃	八、〇一八	〃	三、三〇九	〃	一、二二六	三、七四一	二八、四四五
一九、五一〇〇	二、八四、〇〇〇	〃	一〇、〇一〇、〇〇〇	〃	四、三〇〇、〇〇〇	〃	一、四二五、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	二八、五六四
二〇、一五	二、一	〃	二、一〇	〃	二、一〇	〃	二、一〇	二、一〇	二、一〇

北見		國後		擇捉		羅臼	
北見	頓別	國後	頓別	擇捉	羅臼	羅臼	羅臼
當幌	標津	伊茶仁	目梨	斜里	網走	常呂	德志別
三、四七五、〇〇〇	四、五四〇、〇〇〇	九、三五〇、〇〇〇	四、九六七、五〇〇	七、六六五、〇〇〇	三、二七、五〇〇	二、二二、五〇〇	一、四二、三〇〇
二、三五、六八〇	二、三三、三六〇	四、六三、三六〇	一、五七、六〇〇	三、〇四、三六〇	六、〇七、三五〇	一、九〇、〇〇〇	二、二七、五〇〇
三、四九、三〇〇	四、三六、六〇〇	八、八六、六四〇	四、八〇九、八九〇	七、七七、〇六四	四、七四九、六五〇	一、八一、〇〇〇	一、六九〇、〇〇〇
六、五	四、九	五、〇	三、二	三、九	一、三	一、〇	二、〇
七、三二	三、三〇	六、三〇	六、三〇	六、三〇	五、四三	五、四三	五、四三
他ニ四七五、〇〇〇粒移殖	他ニ一九七、五〇〇粒試験用	常呂ヨリ九四、〇〇〇粒移殖	常呂ヨリ一三五、〇〇〇粒移殖	他ニ二、七四、〇〇〇粒移殖	用水枯渴ノ爲メ凍死	他ニ三、九二、五〇〇粒移殖	他ニ三、九二、五〇〇粒移殖

虹別		新冠		勇拂		敷生		遊樂部		利別		朱太	
虹別	本場	新冠	勇拂	敷生	遊樂部	利別	朱太	利別	朱太	利別	朱太	利別	朱太
風蓮	釧路	十勝	天鹽	幌別	元浦川	三石	染退	新冠	勇拂	敷生	遊樂部	利別	朱太
六、九二、五〇〇	九、一三、五〇〇	三、八〇、〇〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、〇一、七五〇	一、一三、七五〇	五、〇三、六〇〇	七、〇六、四〇〇	一、〇〇、〇〇〇	一、八五、〇〇〇	二、三六、〇〇〇	一、一六、四〇〇	三、三二、五〇〇	七、一五、〇〇〇
二、五九、六四〇	四、七、七九一	三、三六、五二一	一、四一、七〇〇	四、〇一、三〇〇	九、七、二一〇	三、一四、〇〇〇	二、九一、二五〇	九、七五、七五〇	一、〇五、六三〇	一、五一、八四五	一、一七、〇七六	一、八七、六八〇	五、一六、二〇〇
六、六六、二八六	八、七〇、七〇九	三、五三、四八八	一、四七、三〇〇	九、九七、三七〇	一、〇四、一八〇	五、〇〇、三六〇	六、三〇、一五〇	四、八五、〇〇〇	一、七九、三七〇	二、二八、一五五	一、〇四、九三三	三、〇四、八二〇	六、六三、八〇〇
三、八	四、六	二、七	八、〇	四、〇	八、三	〇、六	五、〇	九、六	五、七	六、四	九、〇	五、八	七、二
六、四、五、三	五、四、八	六、四、五、一	五、四、八	四、三、五、四	四、三、五、四	五、四、八	五、四、八	五、四、八	五、四、八	五、四、八	五、四、八	五、四、八	五、四、八
他ニ一五〇、〇〇〇粒分與	他ニ三、〇〇〇、〇〇〇粒移殖	他ニ二、五三、六〇〇粒移殖	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生	吹雪ノ爲メ通水ニ支障ナ生

第三表

鱒親魚捕獲採卵成績表

(自昭和九年八月至同十月)

本場	支場	事業場	名	捕獲場所	捕獲數		親魚數		著養數		採卵數	期間
					雌	雄	雌	雄	雌	雄		
虹別	計		尻別	千歳川	三七三	一二二	一九〇	五五	二三五	一〇四	六〇〇,〇〇〇	自九月一 至九月一日
	計		目名	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
	計		昆布	六〇三	二六一	八六四	四一〇	七三	一三	九二,五〇〇		
	計		名無川	二九六	九五	三九一	一〇七	三〇	一三七	三〇,五〇〇		
	計		熱作	九一四	三七三	一,二八七	五四	一〇五	六九	一九,〇〇〇		
	計		金ヶ澤	二二四	八二	二九六	一四八	六七	二二五	三八〇,〇〇〇		
	計		瀧ノ澤	二〇一	七四	二七五	一四一	五四	一九五	三五五,〇〇〇		
	計		天鹽	四三〇	一七四	六〇四	三〇四	一一二	一五	一二,五〇〇		
	計		第 三	三九二	一四〇	五三二	三六九	二二〇	四九九	二五,〇〇〇		
	計		第 四	二三三	二八	六一	二七	九	二七	七七二,五〇〇		
アシュマン プト	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	四〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	
	計			四五	一六八	五九三	三九六	一三九	五三五	一四〇	八一九,〇〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四九	四五,〇〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	九	七七四,〇〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	
	計			一,七七九	一,一六九	二,〇四八	一,七三四	八七一	二,六〇六	一四〇	七七一,五〇〇	

北見	計	目梨	計	伊茶仁	計	當幌	計	風蓮	計	奔別	計	期間
北見	湧別第一	〃	一,七四一	八〇八	八七七	六〇三	二四六	二二七	六,〇〇九	四,一三〇	〃	自九月一
	湧別第二	〃	二,〇〇七	八八七	六六八	八三九	二二二	四三四	七,七二二	六,四四三	〃	至九月一
	湧別第三	〃	三,七四八	一,六九五	一,五四五	一,四四二	四七八	六五一	一三,七二二	一〇,六七三	〃	〃
	湧別第四	〃	一,四八七	六五八	七七七	四五〇	一八三	一六九	五,八六六	四,一〇一	〃	〃
	計	〃	一,〇五四	四九四	三五六	二五四	二八三	一〇〇	二,三三八	一,四五六	〃	〃
	計	〃	二,一五四	一,一五二	一,一三三	七〇四	二八三	一六九	八,一六四	五,五五八	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
北見	湧別第一	〃	一,〇二八	九一八	一,一〇一	一,三九	二二二	四三四	二,〇〇七	一,四八七	〃	自九月一
	湧別第二	〃	二,六四〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	五,五五八	四,一〇一	〃	至九月一
	湧別第三	〃	三,七四八	一,六九五	一,五四五	一,四四二	四七八	六五一	一三,七二二	一〇,六七三	〃	〃
	湧別第四	〃	一,四八七	六五八	七七七	四五〇	一八三	一六九	五,八六六	四,一〇一	〃	〃
	計	〃	一,〇五四	四九四	三五六	二五四	二八三	一〇〇	二,三三八	一,四五六	〃	〃
	計	〃	二,一五四	一,一五二	一,一三三	七〇四	二八三	一六九	八,一六四	五,五五八	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	計	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

[illegible]

第四表

鱒孵化放流成績表

(自昭和九年六月)

合計	比良糸	比良糸
計	計	計
九五三八九	一、三四一	一、九四
一、五三六	四、六〇六	五五〇
二九、五五	五、九四八	七四四
二四、九四	六、六九一	一七四
四六、四〇五	一、四六三	一、二八九
二〇、五四五	一、三三二	一、二一九
六六、九五〇	二、六九五	二、四〇八
二八、六五九	一、四六六	二、八七
一四、九六六	二、四〇一	二、四〇一
六五、三二四、七〇〇	二、四〇一	二、四〇一
九、一〇三	九、一〇三	九、一〇三

本場	支場	事業場	卵	死卵	放流	死卵率	放流	摘	要
北見	虹別	天朱尻	風當伊目	天朱尻	天朱尻	天朱尻	天朱尻	天朱尻	天朱尻
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇
三、九〇八、〇〇〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇	二、八五〇

計	國後	國後	國後	國後	國後	國後	國後	國後	國後
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇
六四、三九四、七〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇	二、四〇〇

姫鱒孵化事業

支笏湖ニ於ケル姫鱒人工孵化事業ハ親魚不足ノタメ數年間休止セルモ、前年度ニ至リ漸ク復舊ノ曙光ヲ認メタリシガ、本年度ニ於テハ往年ノ盛況ヲ見ルニ至レリ。採卵數二百七十四万五千粒、孵化放流數百九十万七千五百三十尾ニシテ豫定數ニ對シ採卵數ニ於テ一三七・三%、放流數ニ於テ一〇六%ナリ。

(一) 親魚捕獲

昭和九年十月十五日ヨリ同年十一月二十日ニ至ル間ノ姫鱒親魚捕獲數雌一万一千六百十七尾、雄一万九百二十三尾、計二万二千五百四十尾ナリ。

(二) 採卵

前記捕獲親魚ハ事業場ニ運搬ノ上直ニ採卵セリ。捕獲親魚中採卵ニ供セル親魚ハ雌八千八百九十五尾、雄九百六十八尾ニシテ採卵數二百七十四万五千粒ナリ。

右ニヨリテ見レバ捕獲雌親魚ニ對スル使用雌親魚ノ割合ハ七〇・五%、雌一尾ヨリノ平均採卵數三百三十五粒、豫定數ニ對スル採卵ノ割合ハ一三七・三%ニ當レリ。

(三) 孵化放流

前記採卵數ノ中ヨリ分與卵七十五万五千粒ヲ控除セル百九十九万粒ヲ孵化セリ。而シテ孵化ニ至ル迄ノ死卵數ハ五万二千四百七十粒ニシテ之ヲ除ク百九十万七千五百三十尾ヲ孵化セリ。孵化率九七・四%ナリ。

仔魚ハ孵化槽及養魚池等ニ於テ飼育シ健全期ニ達シタル後昭和十年四月十六日ヨリ同年四月二十五日ニ至ル間ニ放流セリ。

種卵配付

主トシテ道内民間養鱒事業ノ發達ニ資センガタメ本場事業上支障ヲ來サザル範圍内ニ於テ種卵ノ配付ヲナシタリ。其ノ數鮭百八十四万粒、鱒八十七万粒、虹鱒五十万九千九百九十五粒、姫鱒七十五万五千粒ニシテ詳細左表ノ通。

種類	卵數	產地	配付先	摘	要
鮭	五〇,〇〇〇	虹別支場風蓮事業場	北海道帝國大學理學部	試驗用	
鮭	一、二〇,〇〇〇	本場	富山縣水產會	試驗用	
鮭	五〇,〇〇〇	〃	北海道帝國大學醫學部	試驗用	
鮭	五〇,〇〇〇	〃	長流鮭人工孵化場	試驗用	
鮭	一〇,〇〇〇	〃	宮崎縣水產試驗場	試驗用	
鮭	一、八四〇,〇〇〇	〃	五		
計	五〇,〇〇〇	本場	札幌市 吉野武者二		
鮭	一〇,〇〇〇	〃	沙流郡門別村 賀張漁業組合		
鮭	一〇,〇〇〇	〃	龜田郡七飯村 和田一夫		
鮭	一五〇,〇〇〇	〃	札幌市 田中憲房		
鮭	一〇,〇〇〇	〃	北海道帝國大學農學部植物園		
鮭	一〇,〇〇〇	〃	札幌市 池田新三郎		
鮭	七〇,〇〇〇	〃	帶廣市 江川定吉		
鮭	一〇〇,〇〇〇	〃	常呂郡置戸村 中西義麻留		
鮭	一〇〇,〇〇〇	〃	札幌市 東富七		
鮭	一〇〇,〇〇〇	〃	上川郡上川村 明石幸輔		
鮭	一〇,〇〇〇	北見支場	旭川市 中井彦平		

試験及調査

(一) 特種採卵試験

已定計畫ニ屬スル鮭、鱒ノ外地方的ニ特種ノ親魚ノ選上スルアリ。而シテ是等ノ中漁業價值アリト認ムル時不知、紅鱒ニ付採卵試験ヲ施行シ將來之ヲ事業化スル基礎的資料ヲ得ントス。

時不知 (澤提支場年萌事業場)

セセキ川ニ於テ鱒ト共ニ時不知ノ捕獲ヲナシタリ。昭和九年九月二十七日雌二十一尾、雄三十五尾、計五十六尾ヲ捕獲シ内成熟セル親魚雌十尾、雄六尾ヲ使用シテ二万二千五百粒ヲ採卵セリ。右ノ内孵化迄ノ死卵數八百三十粒ニシテ之ヲ除ク二万一千六百七十尾ヲ孵化セリ。孵化率九六・三%ナリ。

仔魚ハ養魚池ニ於テ飼育シタル後放流セリ。

紅 鱒 (澤提支場富路事業場)

富路湖ニ於ケル紅鱒親魚ノ捕獲増加ヲ圖ルタメ、昭和九年六月二十四日より同年八月二十八日ノ間ニ於テ親魚ノ選上狀況、湖内分布、及産卵狀況ニ付調査ヲナシタリ。

右ノ結果ニヨリ昭和九年九月十一日より同年十一月十一日迄親魚ノ捕獲ヲナシタリ。其ノ數雌二百四十七尾、雄百十九尾、計三百六十六尾ニシテ内雌ノ成熟セルモノ僅十八尾ニ過ザルニヨリ、未熟魚ハ何レモ蓄養ヲナシ成熟ヲ促シ採卵ニ供セリ。右ノ内雌二百尾、雄八十尾ヲ親魚トシテ五十万粒ヲ採卵セリ。

孵化ニ至ル迄ノ死卵數二万一千五百二十粒ニシテ之ヲ除ク四十八万八千四百尾ヲ孵化セリ。孵化率九五・八%ナリ。仔魚ハ養魚池ニ於テ飼育シタル後放流セリ。

(二) 摩周湖虹鱒捕獲採卵試験 (虹別支場)

目的

湖沼養殖種トシ適當セル虹鱒ノ蕃殖ヲ圖リ以テ湖沼ノ生産増加ニ資スルト共ニ養殖用種卵配付ヲ爲サムトス。

狀況竝結果

本年度摩周湖ニ於ケル虹鱒親魚捕獲ハ例年ノ不振ニ鑑ミ建網ニ代フルニ刺網ヲ使用シタル結果、意外ノ好成績ヲ收ムルヲ得タリ。五月三十一日より六月十九日迄ノ捕獲數雌五百七十九尾、雄四百八十七尾、計一千六十六尾ニシテ内使用親魚數雌四百二十四尾、雄二百七十六尾ヨリ七十七万五千粒ヲ採卵セリ。

右捕獲狀況ヨリ考フルニ漁具ヲ完備シ捕獲期間ヲ延長スルニ於テハ百万粒程度ノ採卵ヲナシ得ルコトヲ認メタリ。

前記ノ内發眼ニ至ル迄ノ死卵數二十六万三千粒ヲ除キタル五十一万二千粒ハ、摩周湖増殖用トシテ五万粒虹別支場試験用トシテ十萬粒ヲ控除シ殘三十六万二千粒ヲ他ニ配付セリ。(種卵配付参照)

(三) 鮭鱒人工受精法改良ニ關スル研究 (本 場)

目的

人工受精ニ際シ之ヲ支配スル各種ノ外的因子ノ影響ヲ闡明シ受精方法ノ改良ニ資セントス。而シテ研究事項ハ左ノ九項目ニ分チタリ。

一、媒質ノ條件ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

イ、精蟲ノ稀釋度ト精蟲ノ受精力トノ關係

ロ、溫度ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

ハ、水素イオン濃度ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

ニ、精蟲ノ受精力ニ及ボス滲透壓ノ影響

ホ、體液ト精蟲ノ受精力

ヘ、鹽類ノ添加ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

二、媒質ノ條件ガ卵ノ受精力ニ及ボス影響

イ、水ニ接シタル未受精卵ノ胚孔收縮速度

ロ、注精後受精作用ノ終了速度

ハ、胚孔ノ收縮作用ヲ人工的ニ阻止セル卵ノ受精

結 果

一、媒質ノ條件ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

イ、精蟲ノ稀釋度ト精蟲ノ受精力トノ關係

精蟲ハ有害ナラザル溶液ニテ稀釋スルコトニヨリテ受精力ヲ有スルニ至ル。而シテ精蟲ノ受精力ヲ完全ニ發揮セシムルニハ精液ヲ九十倍以上ニ稀釋スルヲ要ス。

ロ、溫度ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

受精ハ溫度〇・二―二〇度ノ間ニアリテハ低溫ニ於テ優リ、高溫ニ向ツテ不良ナル傾向アルモ其ノ差異著シカラズ、精蟲ノ受精力ハ廣キ適溫範圍ヲ有ス。

ハ、水素イオン濃度ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

水素イオン濃度六・二―八・〇ノ間ニ於テハ精蟲ノ受精力ニ惡作用ナシ。

ニ、精蟲ノ受精力ニ及ボス滲透壓ノ影響

滲透壓 $\Delta = -0.6^{\circ}\text{C}$ 以上ニ於テハ精蟲ノ受精力ハ害セラル、モソレ以下ニ於テハ害益何レノ影響ヲモ認メズ。

ホ、體液ト精蟲ノ受精力

雌雄魚血精、雌魚體腔液等ハ何レモ滲透壓高ク且粘度大ナルヲ以テ此ノ内ニテハ、精蟲ハ完全ニ受精力ヲ發揮シ得ザルモ稀釋シテ滲透壓及粘度ヲ低クスル時ハ精蟲ノ受精力ニ惡影響ナシ。

ヘ、鹽類ノ添加ガ精蟲ノ受精力ニ及ボス影響

鹽類ハ精蟲ノ受精力ニ有害ナルモノ多ク、有害ナラザルモノニアリテモ有利ナル作用ハナキモノ、如シ。

精蟲ノ受精力ト媒質ノ條件トノ關係以上ノ如シ。故ニ現在行ハル、鮭鱒人工受精ニ於テ、不受精ヲ生ズル原因ガ精蟲ノ受精力ノ關係ニヨルモノト認メラル、場合ハ比較的稀ニシテ、精液ノ稀釋割合適當ニ且低溫ノ下ニ於テ營マル、人工受精ハ、精蟲ノ見地ヨリハ最適條件ニアリタルモノト稱スルコトヲ得ベシ。

二、媒質ノ條件ガ卵ノ受精力ニ及ボス影響

イ、水ニ接シタル未受精卵ノ胚孔收縮速度

水ニ接シタル未受精卵ノ胚孔ハ短時間ノ中ニ收縮スルモノニシテ、精蟲ノ通過不能ナル程度ノ收縮ハ水ニ接シテヨリ五秒乃至六秒ノ間ニ現ハレ、七秒後ニ於テハ全卵數ノ一〇%ニ對シ十秒後ニ於テハ二〇%ニ達スルモノ、如シ。

ロ、注精後受精作用ノ終了速度

注精後全卵ノ受精完了スルハ九秒乃至十五秒ノ間ナリ。

ハ、胚孔收縮作用ヲ人工的ニ阻止セル卵ノ受精

リンガー液 ($\Delta = -0.6^{\circ}\text{C}$ 以下)ヲ以テ卵ノ胚孔ノ收縮スルヲ阻止シ人工受精ヲナス時ハ、胚孔ノ收縮ヲ阻止セザル

場合ニ比シ受精率高シ。

以上ノ如ク一般ニ清水ヲ使用シテ人工受精ヲナス場合ニハ、未ダ受精(卵内ニ精蟲ノ穿入スルコト)終了セザル以前ニ胚孔收縮シテ受精不能ニ陥ルモノアリ。而シテ斯ル原因ニヨリテ生ズル不受精卵ハリンガー液(▷||—0.6°C. R.T.)ノ如キ精蟲ノ受精力ニ有害ナラザル電解質溶液ヲ受精ノ際使用シ、卵ノ胚孔ノ急速ナル收縮ヲ阻止スルコトニヨリテ除キ得ルモノナリ。

(四) 鮭卵ノ水生菌被害防止試験 (本 場)

目的

鮭鱒卵ヲ食鹽水又ハフオルマリン溶液ヲ以テ消毒ヲ行ヘバ、孵化中ノ水生菌着生防止ニ顯著ナル効果アルハ既ニ認めラル、所ナルモ、更ニ有効ナル消毒劑ヲ知ルタメニ晒粉溶液ニツキ試験セリ。而シテ之ガ比較竝各種ノ影響ヲ知ランガタメ食鹽水及フオルマリン溶液ノ消毒試験ヲ行ヒタリ。

狀況竝結果

晒粉

晒粉溶液ヲ以テ鮭卵ノ消毒試験ヲナスニ當リ豫メ致死濃度ヲ檢セルニ〇・五%ニシテ〇・一%以下ハ安全ナルヲ確メ得タリ。依ツテ同溶液ニヨリ三日目毎二十分間宛浸漬消毒セリ。

其ノ結果ハ左表ノ通孵化直前迄ノ經過ハ對照卵ニ比シ優リタルガ孵化期ニ於テ一時ニ多數ノ死卵ヲ生ジ孵化率ハ六二・七八%ニ低下セリ。之ヲ對照卵ニ比スレバ一一・一%、食鹽水消毒卵平均ニ比シ一七・二八%、フオルマリン溶液消毒卵ニ比シ七・六七%ノ低率ヲ示セリ。

以上ニヨリテ見レバ晒粉ハ水生菌防止ノ効果ハ認めタルモ脱殻ノ狀況ヨリ考察スルニ卵膜消化酵素ノ分泌機能ニ障害ヲ及ボスモノ、如ク消毒劑トシテ不適當ナルヲ知レリ。

食鹽

孵化終了迄ノ消毒回数ヲ十一、七、四回ノ三組トナシボーメ比重計五度ノ食鹽溶液ヲ以テ毎回十分間宛浸漬消毒セリ。結果左表ノ如ク對照卵ニ比シ七・九八%優リ効果アルヲ確メ得タリ。尙消毒回数ノ増加ハ水生菌ノ着生ヲ妨グル傾向アルヲ知レリ。

フオルマリン

○・五%フオルマリン溶液ニ三十分間宛浸漬消毒セリ。

結果左表ノ如ク孵化率ハ對照卵ニ比シ〇・一七%低キモ、水生菌ノ着生防止ノ効果著シク尙畸形、臍囊水腫症其ノ他ニ於テ對照卵ト差異ナキヲ認めタリ。但シフオルマリン溶液消毒ハ發眼前ノ卵子ニ對シテハ檢卵ニ優ル所アルモ、其ノ後ニ於テハ檢卵作業ヲ省略シ得ザルモノ、如ク思考セラレタリ。

晒粉

種類	卵數	消毒回数	死卵數	水生菌數	孵化率	記 事
試驗卵	一八、〇〇〇粒	三回	六、七〇〇粒	一、二六六粒	一、一三〇〇尾	六二・七八%
對照卵	〃 (檢卵) 〃	〃	四、七〇〇粒	一、六〇〇粒	一、三、三〇〇尾	七三・八八%

食鹽

種類	卵數	消毒回數	死卵數	着水生菌數	尾數	孵化率	記
試驗卵	二五、〇〇〇粒	一四	三、九五七粒	一、三六一粒	二二、〇四三尾	八四・二七%	
〃	〃	七	七、三二六	四、六五五	一七、六八四	七〇・七四	
〃	〃	四	三、六八五	二、八五〇	二二、三三五	八五・二六	
平均	〃	一	四、九八六	二、九五五	二〇、〇一四	八〇・〇六	
對照卵	〃	三	六、九八〇	六、〇〇〇	一八、〇〇〇	七二・〇八	
(檢卵)							

フォルマリン

種類	卵數	消毒回數	死卵數	着水生菌數	尾數	孵化率	記
試驗卵	一〇、〇〇〇粒	九回	二、九五五粒	一、〇〇〇粒	七、〇四五尾	七〇・四五%	
對照卵	〃	五	二、九三八	一	七、〇六一	七〇・六一	
(檢卵)							

(五) 鮭卵砂利床孵化試驗
目的

本年度本場採卵數多カリシタメ一部分ノ卵子ハ養魚池底砂利床ヲ利用シ孵化スルノ已ムナキニ至リタルニヨリ、其ノ孵化成績調査ノ參考資料トシ併セテ砂利床ニ埋没スル場合ノ卵子ノ發育時期ト砂利層ノ厚薄トノ孵化ニ及ボス影響ヲ知ラン

トス。

狀況竝結果

昭和十年二月五日ニ左表ニ示ス如ク卵子ヲ砂利床ニ收メ孵化ヲ行セタリ。試驗日數六月二十日ニ至ル百三十六日間ニシテ平均水温七度ナリ。

試驗卵	採卵當日	十五日目	三十日目	四十五日目	砂利層ノ厚薄	卵數	孵出數	死卵・死魚數	孵化率	検査月日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇粒	一、九〇一尾	一、〇九九	六三・三%	五月三十日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	一、八三〇	一、一七〇	六一・〇	五月三十日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	一、五〇〇	一、五〇〇	五〇・〇	五月二十日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	一、四〇五	一、五九五	四六・八	五月二十日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	一、九〇一	一、〇八九	六四・〇	五月十一日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	一、六〇一	一、三九九	五三・〇	五月十一日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	二、一六四	六三五	七二・一	四月三十日
一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	一五寸	〃	三、〇〇〇	二、一六四	八三六	七二・一	四月三十日

右ニ依レバ人工孵化ノ成績ニ比較スレバ一般ニ不良ナルヲ免レザルモ發育ノ進ムニ從ヒ成績良ク又砂利層ハ薄キモノ良好ナルヲ知ル。

(六) 鱒類養殖試驗

目的

民間養鱒事業獎勵ノタメ池中及湖沼養殖魚種トシテ最モ適當スル虹鱒ヲ養成シ、以テ配付用種卵ヲ採取スル外、之ガ經營上ノ資料ヲ求メンガタメ前年度ニ引續キ經濟試驗ヲナシタリ。

狀況並結果

虹鱒飼育試驗 (本場及虹別支場)

本場ニ於テハ例年ノ如ク昭和十年一月二十一日ヨリ捕獲採卵ヲ始メ同年四月十五日終了迄ニ三十六万三千四百九十五粒ヲ得タリ。本場試驗用トシテ十一万五千粒ヲ除ク二十四万八千四百九十五粒ヲ配付セリ。(種卵配付參照)

虹別支場ニ於テハ前年度ニ引續キ養魚池ニ於テ飼育中ナリ。

虹鱒養殖經濟試驗 (本場)

昭和八年三月三十一日及同年四月十一日ノ兩日採卵シタル三万八千粒ヲ供試材料トシ、之ヨリ三万三千八百七十尾(孵化率八九・一%)ノ仔魚ヲ得タリ。餌料ハ始メ牛又ハ豚生肝臟ヲ與ヘ其ノ後ハ肝臟ノ外ニ魴粉、小麥粉、蛹粉、魚粉等ヨリ成レル混合餌料ヲ以テ飼育セリ。昭和九年七月ニ至リ全長五寸乃至七寸、平均六寸前後、體重五十三瓦ニ達シ販賣ニ適スル大サニ成長シタルヲ以テ、同月四日ヨリ親魚養成用種苗ヲ控除シタル殘八千三十六尾ヲ本場渡價格一尾五錢ノ割ヲ以テ定山溪溫泉旅館ニ試賣ヲ開始セリ。而シテ本試驗ハ販賣ニ適スル大サニ達シタル同月二十日ヲ以テ終了セリ。期間中ノ飼育成績左表ノ如ク、販賣時原卵ニ對スル歩留五三・四%、孵化尾數ニ對スル歩留五九・九%ナリ。

調査月日	取揚尾數	原卵ニ對スル歩留率	孵化數ニ對スル歩留率	重 一尾當一總 量 体	摘 要
------	------	-----------	------------	----------------------	--------

昭和八年 九月十二日	一九、〇〇〇 _尾	七六・三 _%	八五・六 _%	一、六 _瓦	四六、四 _瓦 孵化後一六六一一五五日
同 九年 三月二十日	二四、八六二	六五・四	七三・四	六、九	一七一〇 _ク 三五四—三四三日
同 九年 七月二十日	二〇、三〇八	五三・四	五九・九	五三・〇	一〇七六、〇 _ク 四七六—四六五日

右試賣ノ結果ハ左表ニ示ス如ク單價五錢、二万三千八百尾代一千十五圓四十錢ニシテ、餌料費、卵代等ノ諸經費四百十二圓十九錢ヲ差引キ六百三圓二十一錢ノ餘剩ニシテ、收支計算表ヲ示セバ左ノ如シ。

收入

項目	員數	單價	金額	摘 要
虹鱒賣却代	二〇、三〇八 _尾	五 _錢	一、〇一五、四〇 _円	

支出

項目	員數	單價	金額	摘 要
肝臟	一三八、五〇〇 _實	六〇 _錢	八三、二 _円	
魴粉	一七、三三〇	四三	七六、六	
小麥	六八、八六〇	七〇	四八、二〇	
蠶蛹	七六、一四〇	四七	三八、七八	
鯉粕	三八、一三〇	三五	四八、三四	
人造米	二四〇、〇〇〇	九	二一、六〇	

酒	1,000	八五	八五
卵	三、八六二	一五、〇〇	四九、二九
代	七五	六五	四八、七五
計	一	一	四二、一九
女人夫賃			發眼卵購入代
			鮎、蠶蛹、鰻粕ノ搗賃

收支 差引殘 六百三圓二十一錢

備考 本試験ニ於テハ從業者ノ給料並養魚ニ必要ナル諸器具代等ノ經費ハ算出至難ニ付計上セズ。

(七) 鱒族飼育改良試験 (水産連絡試験) (本場)

水産連絡試験ノ協定ニ基クモノニシテ、優良鱒族種卵ノ需給ニ關シ親魚ノ飼育其ノ他ノ條件ヲ知ル必要アルヲ以テ需給者互ニ連絡シテ飼育試験ヲナス。

狀況 並 結果

右ノ爲メ本場ヨリ岩手縣水産試験場外七箇所ニ虹鱒卵一腹分宛計一万一千九十五粒(種卵配付參照)ヲ配給シ、又新潟縣水産試験場阿賀野川養鱒場ヨリ河鱒卵千九十六粒、秋田縣水産試験場花館鱒孵化場ヨリ虹鱒卵千六百六十九粒ノ配給ヲ受ケ孵化飼育セリ。

(八) 洞爺湖姫鱒繁殖狀況調査 (本場)

洞爺湖ニ於ケル姫鱒魚體ノ退化並斃死ノ原因ヲ究メ以テ對策ヲ講ゼンガタメ現地ニ就キ調査ヲナシタリ。

(九) 鮭鱒遡上河川調査 (擇捉支場)

前年度ニ引續キ擇捉島各河川ニ於ケル鮭鱒ノ遡上狀況其ノ他孵化事業上必要ナル事項ヲ豫メ調査シ、以テ孵化場設置ノ基礎的資料ヲ求メントスルモノニシテ本年度ハ茂世路川ニ付施行セリ。

指導

期 間	指 導 地	被指導者	指導科目	指導者	摘 要
三月 自十一日至十三日	札幌郡豊平町	吉野養鱒場	養鱒一般	本場員一名	

其ノ他

(一) 支場長會議

民營孵化事業ノ國營移管ニ伴ヒ昭和九年度本場事業ノ實施ニ當リ萬全ヲ期スルタメ八月十六、七日ノ兩日本場ニ支場長會議ヲ開催セリ。

(二) 親魚捕獲受託者打合會

昭和九年度鮭鱒親魚捕獲事業ヲ前孵化事業經營者ニ委託スルニ當リ十一月二十六日關係者本場會議室ニ參集施行方法並改善ヲ要スル事項ニ關シ打合セラナシタリ。

移 管 成 績

已述セル通鮭孵化事業ニ在リテハ空前ノ成績ヲ收メ、鱒孵化事業ニ在リテハ樺太鱒ノ凶漁年ニ該當セルタメ親魚ノ遡河

數少ク、從テ豫定計畫ノ採卵ヲ爲シ得ザリシモ、之ヲ移管前即昭和七、八兩年度ノ成績ニ比較スルトキハ著シキ進歩ヲ示シタリ。

鮭孵化事業

ハ一孵化場當捕獲數ニ於テ二千三百十二尾、採卵數ニ於テ三百四十三万三千四百九粒、豫定計畫ニ對スル採卵率ニ於テ四八・三五%、雌親魚使用率ニ於テ五・七一%平均採卵數ニ於テ二十粒ノ何レモ増加ヲ示セリ。唯孵化率ニ於テ二・五三%ノ低下ヲ見タルハ遺憾トスルトコロナレドモ、之ハ收容力以上ノ採卵ヲ爲シタル結果卵子ヲ河床、養魚池底等ヲ利用スル應急裝置ニ依リテ孵化ヲ行ヘルニ基因スルモノニシテ已ムヲ得ザル事情ニ屬ス。

鱒孵化事業

ハ一孵化場當捕獲數ニ於テ千五百七十七尾、採卵數ニ於テ十三万九千七百八十粒、豫定計畫ニ對スル採卵率ニ於テ一・〇三%、親魚使用率ニ於テ一・九二%ノ何レモ増加ヲ示シタリ。低下ヲ示セルハ平均採卵數ニ於テ三百四十八粒、孵化率ニ於テ〇・七三%ナリ。

以上ニ依リ今回ノ移管ハ已ニ第一年ニ於テ概シテ好成績ヲ收メ得タルモ、今後漸次更ニ向上ニ勉ムル必要アリト認メラル。

移管前後ノ成績比較表

魚種	項目	移管前(昭和七、八年度)	移管後(昭和九年度)	摘	要
鮭	一孵化場當親魚捕獲數	八、六九五	二、〇〇八		
	一孵化場當採卵數	四、九〇六、四四九	八、三三六、七九八		
	豫定計畫ニ對スル採卵率	六五・五八	一三・九三		捕獲雌數ニ對スル使用雌數ノ割合
鱒	親魚使用率	六三・〇九	六八・八〇		
	一孵化場當親魚捕獲數	八、六九五	二、〇〇八		
	一孵化場當採卵數	四、九〇六、四四九	八、三三六、七九八		
	豫定計畫ニ對スル採卵率	六五・五八	一三・九三		捕獲雌數ニ對スル使用雌數ノ割合
	親魚使用率	六三・〇九	六八・八〇		

魚種	項目	移管前(昭和七、八年度)	移管後(昭和九年度)	摘	要
鮭	一孵化場當親魚捕獲數	七、四一九	八、九九六		
	一孵化場當採卵數	二、四七、七七八	二、六二、五四八		
	豫定計畫ニ對スル採卵率	五三・四〇	五四・四三		捕獲雌數ニ對スル使用雌數ノ割合
鱒	親魚使用率	四六・七二	四八・六四		
	平均採卵數	一、七五五	一、四〇七		
	孵化率	九四・二二	九三・三九		

附

錄

北海道鮭鱒孵化場規程

第一條 鮭鱒孵化場ハ左ノ事業ヲ行フ

- 一 鮭鱒族ノ孵化及放流
 - 二 鮭鱒族其ノ他淡水魚類ノ蕃殖ニ關スル調査及試験
 - 三 鮭鱒族其ノ他淡水魚類ノ蕃殖ニ關スル講習、講話及實地指導
 - 四 鮭鱒其ノ他淡水魚類ノ種卵種苗ノ配付
- 第二條 鮭鱒孵化場ニ左ノ職員ヲ置ク

場長
技師
屬
技手

前項ニ定ムル職員ノ外地方農林技師及農林技手ヲ置クコトヲ得
場長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ

- 第三條 場長ハ長官ノ指揮監督ヲ受ケ場中全般ノ事務ヲ掌理ス
- 第四條 技師及農林技師ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル
- 第五條 屬ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス
- 第六條 技手及農林技手ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス
- 第七條 必要ノ地ニ支場又ハ事業場ヲ置ク
- 第八條 支場ニ支場長ヲ置ク

支場長ハ技師、技手、地方農林技師又ハ農林技手ヲ以テ之ニ充ツ支場長ハ場長ノ指揮監督ヲ承ケ場中全般ノ事務ヲ掌理ス

第九條 事業場ニ事業場主任ヲ置ク

事業場主任ハ技手又ハ農林技手ヲ以テ之ニ充ツ但シ助手ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
事業場主任ハ場長又ハ支場長ノ指揮監督ヲ承ケ場務ヲ掌理ス

第十條 鮭鱒孵化場同支場及事業場ノ名稱、位置及擔當區域ハ別ニ之ヲ告示ス

北海道鮭鱒孵化場庶務規程

第一章 總 則

第一條 鮭鱒孵化場ニ左ノ係ヲ置ク

庶務係

事業係

第二條 庶務係ノ分掌事項左ノ如シ

- 一 場員ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
- 二 印章ノ管守ニ關スル事項
- 三 文書及物品ノ收受及發送ニ關スル事項
- 四 例規ノ整理及編纂ニ關スル事項
- 五 支場又ハ事業場ノ事業査閲ニ關スル事項
- 六 訴訟其ノ他爭議ニ關スル事項
- 七 當直ニ關スル事項
- 八 收入及支出ニ關スル事項
- 九 財産ニ關スル事項
- 十 物品ノ會計ニ關スル事項

十一 出納官吏ニ關スル事項

十二 傭人ニ關スル事項

十三 場内取締ニ關スル事項

十四 事業係ノ主管ニ屬セザル事項

第三條 事業係ノ分掌事項左ノ如シ

- 一 孵化及放流ニ關スル事項
- 二 蕃殖ノ調査及試験ニ關スル事項
- 三 講習及講話ニ關スル事項
- 四 實地指導ニ關スル事項
- 五 種卵種苗ノ配付ニ關スル事項
- 六 統計及資料ノ編纂ニ關スル事項
- 七 事業成績及事業報告ニ關スル事項

第二章 職務及權限

第四條 左ニ掲グル事項ハ場長之ヲ專決處分スベシ

- 一 場員ノ事務分掌ニ關スル事項
- 二 事業場主任ノ任命及解任ニ關スル事項
- 三 雇員助手及傭人ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
- 四 場長七日以内ノ管内出張
- 五 場員ノ管内出張ニ關スル事項
- 六 見積價格一口金千圓未滿ノ物品ノ購入若ハ修繕又ハ不用品賣却ニ關スル事項
- 七 賃借期間一年ヲ超エズ且賃借料年額又ハ總額三百圓ヲ超エザル物件ノ借入ニ關スル事項

前項ノ規定ニ拘ラズ左ニ掲グル事項ハ支場長之ヲ專決處分スベシ

一 支場員、事業場員ノ事務分掌ニ關スル事項

二 支場長七日以内ノ擔當區域内出張

三 支場員、事業場員ノ擔當區域内出張

四 七日ヲ超エザル人夫ノ傭入及見積價格一口百圓未滿ノ物品ノ購入若ハ修繕又ハ不用品賣却ニ關スル事項

前二項ノ規定ニ拘ラズ事ノ異例ニ屬スルモノ及重要ト認ムルモノニ付テハ場長ハ長官ノ、支場長ハ場長ノ指揮ヲ受クベシ

第一項第一號第二號、第二項第一號第二號ノ處分ヲナシタルトキハ其ノ都度場長ハ長官ニ、支場長ハ場長ヲ經テ長官ニ之ヲ報告スベシ

第五條 親魚捕獲ヲ他ニ委託セムトスルトキハ場長ハ委託先及委託契約事項ヲ具シ長官ノ認可ヲ受クベシ

第六條 場長又ハ支場長不在ナルトキハ場長又ハ支場長ノ指定シタル場員其ノ職務ヲ代行ス 但シ場員ノ進退賞罰及身分ニ關スルモノ及重要ト認ムルモノニ付テハ場長又ハ支場長ノ承認ヲ得タル場合ノ外代行スルコトヲ得ズ

第七條 前條ノ規定ニ依リ代行シタル事件ハ代行者ハ其ノ文書ニ後關ノ印ヲ押捺シ遲滞ナク之ヲ場長又ハ支場長ノ閱覽ニ供スベシ 但シ輕易ナル事件ニシテ代行者ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 場長又ハ支場長ハ毎年度一回以上支場又ハ事業場ノ事業狀況ヲ查閱スベシ

查閱スベキ事項ノ概目左ノ如シ

一 事業ノ施行狀況

二 金錢及物品ノ出納竝ニ保管ノ狀況

三 文書整理ノ狀況

四 場員ノ勤務ノ狀況

五 其ノ他必要ト認ムル事項

第九條 場長ハ毎年度五月末日迄ニ次年度ノ豫算ヲ編成シ之ヲ提出スベシ

第十條 事業場主任ハ毎月五日迄ニ支場長又ハ場長ニ、支場長ハ毎月十日迄ニ場長ニ前月分ノ事業概況書竝ニ場員勤怠表(第一號様式)ヲ提出スベシ

第十一條 場長ハ毎年二月末日迄ニ次年度ノ事業案ヲ作製スベシ

前項ノ事業案ハ長官ノ承認ヲ承クベシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同ジ

第十二條 場長ハ前年度ノ事業成績書ヲ五月末日迄ニ前月ニ於ケル事業概況書ヲ毎月十五日迄ニ前年十一月ヨリ其ノ年十月迄ノ場員勤怠表ヲ十一月三十日迄ニ提出スベシ

第三章 事務ノ處理

第十三條 文書ハ收受發送ノ都度文書件名簿ニ之ヲ登記スベシ 但シ親展文書ハ親展文書件名簿ニ之ヲ登記スベシ

金券其ノ他貴重品添附ノ文書ハ文書件名簿及文書ノ欄外ニ其ノ要領ヲ記入ノ上取扱者之ニ認印シ仍金券其ノ他ノ貴重品ハ金卷整理簿ニ之ヲ登記スベシ

第十四條 文書ハ本場ニ在リテハ場長、支場ニ在リテハ支場長、事業場ニ在リテハ事業場主任ノ閱覽ヲ經タル上前條ノ手續ヲ爲スベシ

第十五條 文書ハ即日之ヲ處理スベシ但シ即日處理シ難キモノハ取扱者ニ於テ豫メ期限ヲ定メ處理ノ方針ニ關シ本場ニ在リテハ場長、支場ニ在リテハ支場長、事業場ニ在リテハ事業場主任ノ指揮ヲ受クベシ

第十六條 口頭又ハ電話ヲ以テ受理シタル事項ハ其ノ要領ヲ記錄シ送話者名及受話者名ヲ附記スベシ

第十七條 文書ノ記號ハ本場ニ在リテハ「解」、支場ニ在リテハ支場名ノ頭字ニ「解」ノ字ヲ附記シ機密ニ屬スルモノニ付テハ其ノ下ニ「祕」ノ字ヲ加フルモノトス

第十八條 回議書(第二號様式)ニハ關係書類ヲ順綴添付シ事件ノ經過ヲ知り易カラシムベシ

第十九條 事ノ輕易ナルモノハ本書ノ餘白ヲ以テ起案スルコトヲ得其ノ處分ヲ要セズシテ閱覽ニ供スルモノ亦同ジ

第二十條 本場支場及事業場ニハ左ノ帳簿ヲ備フベシ

一 豫算整理簿

- 二 事業案台帳
 - 三 親魚捕獲及採卵台帳
 - 四 孵化成績台帳
 - 五 調査試験台帳
 - 六 講習、講話及指導台帳
 - 七 種卵種苗配付台帳
 - 八 事業日誌
 - 九 出勤簿及事故簿
 - 十 文書件名簿
 - 十一 親展文書件名簿
 - 十二 金券整理簿
 - 十三 出張命令簿
 - 十四 人夫使役簿
 - 十五 其ノ他必要ト認ムル帳簿
- 第二十一條 完結セル文書ハ左ノ類別ニ依リ編纂シ索引ヲ附シ之ヲ保存スベシ
- 第一類 永久保存
- 一 例 規
- 二 場員ノ進退賞罰ニ關スル書類
- 第二類 二十年保存
- 一 統計ニ關スル書類
- 二 經費豫算ニ關スル書類
- 三 訴訟其ノ他爭議ニ關スル書類

- 第三類 十年保存
- 一 事業ニ關スル書類
- 二 經費ノ收支ニ關スル書類
- 三 物品ノ出納ニ關スル書類
- 四 契約ニ關スル書類
- 第四類 五年保存
- 一 事務引繼ニ關スル書類
- 第五類 一年保存
- 一 雜件書類
- 保存年限ハ會計年度ニ屬スルモノハ其ノ翌年度ヨリ其ノ他ハ完了ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス
- 第二十二條 保存期限滿了シタル文書ハ場長之ヲ廢棄處分スベシ

第四章 服 務

- 第二十三條 場長、支場長及事業場主任ハ場務ノ都合ニ依リ休日又ハ勤務時間外ニ場員ヲシテ執務セシムルコトヲ得
- 第二十四條 場員出勤シタルトキハ出勤簿ニ捺印スベシ出勤時間ヲ過ギ出勤シ又ハ早退セムトスルトキハ事故簿ニ依リ届出ヅベシ出張ノ場合其ノ發着ニ付亦同ジ
- 第二十五條 父母ノ祭日、點呼、召集、徴兵等ノ爲缺勤セムトスル者ハ前日迄ニ事業場主任及支場長ヲ經テ場長ニ届出ヅベシ
- 第二十六條 疾病其ノ他豫期スルコトヲ得ザル事故ノ爲出勤スルコト能ハザル者ハ當日午前中ニ場長、支場長又ハ事業場主任ニ届出ヅベシ
- 疾病ノ爲缺勤十日以上ニ及ブトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ期間ヲ定メ場長、支場長又ハ事業場主任ニ届出ヅベシ其ノ期間ヲ過ギ仍缺勤セムトスルトキ亦同ジ

第二十七條 忌服ノ届出ニハ死亡者トノ續柄及其ノ死亡年月日ヲ記載スベシ

第二十八條 父母ノ看病年回慕轉地療養其ノ他旅行等ノ爲任地ヲ離レムトスル者ハ其ノ理由期間及行先ヲ具シ其ノ轉地療養ニ在リテハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ場長ニ在リテハ長官場員ニ在リテハ事業場主任及支場長ヲ經テ場長ノ許可ヲ受クベシ

第二十九條 新ニ任命又ハ囑託セラレタルモノハ直ニ履歷書及住所届ヲ場長ニ差出スベシ
場員其ノ氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキハ直ニ場長ニ届出ヅベシ

前二項ノ規定ニ依リ場長ニ差出スベキ書面ハ事業場主任及支場長ヲ經由スベシ

第三十條 文書ハ上司ノ許可ナクシテ之ヲ他ニ示シ又ハ謄寫セシムルコトヲ得ズ

第三十一條 場員退官、退職、休職、轉任等ノ場合ハ後任者ニ擔當事務ノ引繼ヲ爲シ連署ノ上之ヲ上司ニ届出ヅベシ
但シ取扱中ニ係ル事件ノ報告書ヲ上司ニ提出シテ之ニ代フルコトヲ得

第三十二條 出張ハ出張命令簿ヲ以テ之ヲ命ズベシ

第三十三條 出張員歸場シタル時ハ遲滞ナク其ノ出張中取扱タル事務ノ顛末ヲ上司ニ復命スベシ

第三十四條 場舎又ハ其ノ近傍ニ變災アルトキハ速ニ出場シ警戒防禦ニ從事スベシ

昭和十一年三月三十日印刷
昭和十一年三月卅一日發行

北海道鮭鱒孵化場

札幌市北四條西二丁目一番地

印刷所 青木印刷所

電話四三九一

印刷人 青木八十吉